表紙

|  |  |
| --- | --- |
| 論文種類 | 一般論文／ノート／ケースレポート／その他・掲載希望の論文種類を一つ記載して、他は消去してください。 |
| 論文題目 | 和文タイトル・論文題目を日本語表記で記載してください。 |
| 著者名 | 青葉 太郎\*1)、薬学 次郎2)、星陵 花子1,2)、◯◯ ◯◯3)・すべての著者姓名を日本語表記で記載してください。・連絡著者として、少なくとも1人の著者をアスタリスクで指定してください。・姓と名の間は半角スペースを入れ、著者間は読点（、）で区切ってください。 |
| 著者所属 | 1) ◯◯大学薬学部2) ◯◯薬局3) ◯◯病院薬剤部・すべての著者所属を日本語表記で記載してください。 |
| 所属住所 | 1) 〒\*\*\*-\*\*\*\*　〇〇県〇〇市〇〇区〇〇1-12) 〒\*\*\*-\*\*\*\*　〇〇県〇〇市〇〇区〇〇1-13）〒\*\*\*-\*\*\*\*　〇〇県〇〇市〇〇区〇〇1-1・すべての著者の所属住所を日本語表記で記載してください。 |
| 英文題目 | Title in English ・論文題目を英語表記で記載してください。 |
| 著者ローマ字 | Taro AOBA \*1), Jiro YAKUGAKU2), Hanako SEIRYO1,2), First name LAST NAME3) ・すべての著者をローマ字表記（アルファベット）で記載してください。・連絡著者として、少なくとも1人の著者をアスタリスクで指定してください。 |
| 英文所属 | 1. Department of abc, DEF University,
2. Department of ghi, JKL Pharmacy,
3. Department of mno, PQR Hospital.

・すべての著者所属を英語表記で記載してください。 |
| 英文所属住所 | 1. 6-3 Aramaki aza Aoba, Aoba-ku, Sendai, Miyagi 980-8578, Japan
2. 6-3 Aramaki aza Aoba, Aoba-ku, Sendai, Miyagi 980-8578, Japan
3. 6-3 Aramaki aza Aoba, Aoba-ku, Sendai, Miyagi 980-8578, Japan

・すべての著者の所属住所を英語表記で記載してください。 |
| 連絡著者氏名 | 青葉 太郎・連絡著者の姓名を記載してください。 |
| 連絡著者のメールアドレス | sougo@mail.address.jp ・連絡著者のメールアドレスを記載してください。 |
| TEL | 012-345-6789  |
| FAX | 012-345-6789  |
| 論文ハイライト | 論文ハイライトは日本語で記載。・和文で200字から500字程度で記載してください。形式は任意です。和文の論文ハイライトは論文発行の際は掲載されません。 |

（以降は要改ページ）

本文 Main manuscript

|  |  |
| --- | --- |
| 論文種類 | 一般論文／ノート／ケースレポート／その他・タイトルページの「論文種類」と同一の内容を記載してください。 |
| 論文題目 | 和文タイトル・タイトルページの「論文題目」と同一の内容を記載してください。 |
| 英文題目 | Title in English・タイトルページの「英文題目」と同一の内容を記載してください。 |
| 要旨Abstract | All manuscripts must be accompanied by an abstract in English. The abstract should briefly state the problem or purpose of the research, indicate the theoretical or experimental plan used, summarize the principal findings, and point out the major conclusions.・要旨は英文250語以内で入力してください。 |
| キーワードKeyword | Drug interactions, Pharmaceutical care, Adherence, molecular target drug・キーワードは英文で5個以内とする。 |

本文には明朝体（和文）やTimes系（英文）を用いること。

日本語原稿の場合、句読点は「、」「。」とし、括弧は「（　）」とする。

書き出しおよび改行後は、１字あけて２文字目から始める。

各項目は、１．２．３．、・・・、（１）（２）（３）、・・・の順に記載する。

**緒言**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**方法**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**症例**

適宜記載する。主にケースレポートで使用する。

見出しで「患者背景」「経過」「治療」等を適宜変更・追加してもよい。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**結果**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**考察**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**結論**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

**謝辞**

謝辞は本文（緒言、方法、結果、考察、結論）の後、利益相反の前に適宜記載する。

**利益相反**

利益相反の開示は謝辞の後、引用文献の前に記載する。

**引用文献**

1. 久保田隆廣：アザチオプリン／６-メルカプトプリン代謝に関わる薬物代謝酵素とその遺伝的多型，医薬品相互作用研究，38(3)，1-7，2015．
2. Tanaka A, Takechi K, Watanabe S, Tanaka M, Suemaru K, Araki H: Convulsive liability of cefepime and meropenem in normal and corneal kindled mice. Antimicrob. Agents Chemother., 58(8), 4380-4383, 2014.
3. Ichida K, Matsuo H, Takada T et al.: Decreased extra-renal urate excretion is a common cause of hyperuricemia. Nat. Commun., 3, 764, 2012.
4. 板垣史郎：第Ⅶ章　血中濃度測定法の概要と測定機器の紹介，TDM実践ハンドブック，唯野貢司・菅原　満・小林道也・齊藤嘉津彦・後藤仁和・戸田貴大編，薬事新報社，東京，pp17-18，2007．
5. Briggs GG, Freeman RK, Yaffe SJ: Drugs in Pregnancy and Lactation, 9th ed, Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia PA, 2011.
6. 第十三改訂 調剤指針，日本薬剤師会　編，薬事日報社，東京，2011．
7. 独立行政法人国立健康・栄養研究所：「健康食品」の安全性・有効性情報．https://hfnet.nih.go.jp/　2014年2月9日アクセス．
8. US Food and Drug Administration: Drug Interaction Studies ‒ Study Design, Data Analysis, Implications for Dosing, and Labeling Recommendation.

http://www.solvobiotech.com/documents/FDA\_Draft\_Guidance\_on\_Transporter\_related\_drugdrug\_interactions-2012.pdf　2014年3月1日アクセス．

1. 厚生労働省医政局：医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について，医政発0430第1号 (2010年4月30日).

**図の説明文 Figure legends**

図の説明文（Figure Legends）は、図中に記載せず、本文「引用文献」の後に記載する。